校長室から **ひがしなら通心**

（Ｈ２９年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．５１

平成３０年３月９日（金）発行

東日本大震災(3.１１)を考える

私たちが忘れてはならない大切な日の一つが、２０１１年3月１１日、東日本大震災があった日です。今から７年前、６年生の人が入学前のことですから覚えているでしょうか。先生は、母親が亡くなった数日後のことだったので、今でもはっきり覚えています。テレビの映像で、津波が町を呑み込む様子は、本当に恐ろしく怖いものでした。最近、テレビでも当時の振り返りで、映像の再放送番組をやっていました。見た人もいるでしょう。

東日本大震災は、２０１１年（平成２３年）3月１１日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波、およびその後の余震により引き起こされた大規模地震災害のことです。この地震によって福島第一原子力発電所事故が起こりました。発生した日付から3.１１（さんてんいちいち、さんいちいち）と称することもあります。

地震発生は、3月１１日１４時４６分１８秒（日本時間）、宮城県牡鹿半島の東南東沖１３０㎞、仙台市の東方沖７０㎞の太平洋の海底を震源とする東北地方太平洋沖地震でした。地震の規模はモーメントマグニチュード（Mw）９.０で、発生時点において日本周辺における観測史上最大の地震でした。震源は広大で、岩手県沖から茨城県沖までの南北約５００㎞、東西約２００㎞のおよそ１０万ｋ㎡という広範囲全てが震源域とされます。

この地震により、場所によっては波高１０m以上、最大遡上高４０.１mにも上る巨大な津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害が発生しました。２０１６年（平成２８年）2月１０日時点で、震災による死者・行方不明者は１８,４５６人（死者は１５,８９４人、警察に届出があった行方不明者は2,５６２人）重軽傷者は6,１５２人、建築物の全壊・半壊は合わせて４００,２４３戸が公式に確認されています。日本国内で起きた自然災害で死者・行方不明者の合計が１万人を超えたのは戦後初めてであり、大津波や大震動に襲われた青森県から千葉県までの太平洋沿岸を中心に、１都１道１０県で死者・行方不明者が、また１都１道１８県で負傷者が発生しました。

今年は、震災後７周年です。３／１１（日）、国による追悼式が行われます。火山の多い日本に住む私たちは、日常生活の中でもいつも自然災害（特に大きな地震が発生する可能性が高い）について意識しておくことを忘れてはいけないと思います。そして、自然災害への備えも大切です。一人ひとりが主体的に行動すること、地震が来たら津波が来ることを想定するなど、東日本大震災からの教訓を忘れないで、どのように対処したらいいのかを考えるきっかけにしましょう。

国民の皆様へ
（東日本大震災七周年に当たって）

政府は、来たる3月１１日午後２時３０分から、「東日本大震災七周年追悼式」を国立劇場において執り行います。

東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から７年を迎えようとしています。

この震災によりかけがえのない多くの命が失われました。最愛の御家族や御親族、御友人を失われた方々のお気持ちを思うと、今なお哀惜の念に堪えません。

政府は、原発事故の被災者を含め今なお多くの方々が避難され、不自由な生活を送られている現実を心に刻み、復興の加速化に全力で取り組んでまいります。また、震災の大きな犠牲の上に得られた教訓を常に顧みながら、防災・減災対策を不断に見直し、国民の生命・財産を守るため、災害に強い強靭な国づくりを進めてまいります。

この震災により犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表すべく、追悼式当日の午後２時４６分に１分間の黙とうを捧げ、御冥福をお祈りすることとしております。国民の皆様におかれましても、これに合わせて、それぞれの場所において黙とうを捧げられますよう、お願いいたします。

平成３０年２月２０日
東日本大震災七周年追悼式実行委員長
内閣総理大臣　安倍 晋三

おめでとうございます！

３／３（土）、第６４回三島地区読書感想文コンクール表彰式が、摂津市の小学校で行われました。本校からは、５年生の塚本 絢音さんの作品『見えなくなってきたものとは？』が努力賞で表彰されました。おめでとうございます。